



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 パシフィックシステム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3847 URL <http://www.pacific-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 泰博  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土谷 稔 (TEL) 048-845-2200  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,097	△25.8	△58	—	△57	—	△44	—
2022年3月期第1四半期	2,828	49.3	80	—	83	—	56	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △49百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 63百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△30.05	—
2022年3月期第1四半期	38.38	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,440	5,429	64.3
2022年3月期	8,710	5,568	63.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 5,429百万円 2022年3月期 5,568百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	62.50	—	67.50	130.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	65.00	—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,193	△4.2	736	△3.6	741	△3.9	509	△2.2	344.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期1Q	1,480,000株	2022年3月期	1,480,000株
2023年3月期1Q	365株	2022年3月期	365株
2023年3月期1Q	1,479,635株	2022年3月期1Q	1,479,635株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年6月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況もワクチン接種の進展や感染防止対策の浸透等により、新規感染者数が減少に向かい、行動制限が緩和されるなか、景気の持ち直しの動きがみられました。その一方で、半導体不足の継続に加え、ウクライナ情勢等の影響で原材料価格や資源価格の上昇による企業収益の圧迫など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、そのような環境の中でも、AIやIoTなどのデジタル技術を利用したデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みが企業を中心に増加する一方で、新型コロナウイルス感染症の影響や資源価格の上昇による情報化投資の抑制・延期、半導体等の部品供給不足によるプロジェクトの延伸など影響が出る可能性があります。

このような状況のもと、当社グループは23中期経営計画（2021年度～2023年度）の基本方針である「攻め～コスト・人材を注いでチャレンジし、発展に直接つなげる」「守り～管理強化とそれを下支えする制度の構築、次の成長の準備」のもと、主要事業の推進に取り組みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機器等販売、ソフトウェア開発、システム販売のセグメントで減少となり、2,097百万円（前年同期比25.8%減）となりました。損益につきましては売上高の減少及び不採算案件等により、営業損失58百万円（前年同期営業利益80百万円）、経常損失57百万円（前年同期経常利益83百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失44百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益56百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①機器等販売

売上高は前期まで大型案件として売上を計上していた子会社のGIGAスクール構想案件が前期で終了したことにより、433百万円（前年同期比60.0%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、27百万円の利益（同76.9%減）となりました。

#### ②ソフトウェア開発

小規模プロジェクトで売上の積上げはありましたが、大規模プロジェクトが終盤となり、売上が減少し、310百万円（前年同期比19.3%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少及び不採算案件等により、20百万円の損失（前年同期1百万円の利益）となりました。

#### ③システム販売

前年度・前々年度にコロナ感染症拡大の影響で顧客における設備投資抑制の影響を受けた画像処理システムは回復が見られました。また、生コン関連・砕石関連のパッケージ販売は、前年度より増加がありました。しかしながら、社会情勢不安による物価高騰を受けて、顧客の設備投資の抑制があり、インフラサービスの受注が減少し、468百万円（前年同期比12.3%減）となりました。セグメント利益は売上高の減少により、20百万円の利益（同38.2%減）となりました。

#### ④システム運用・管理等

売上高はシステム運用支援やデータセンター業務、保守関連等の増加により、885百万円（前年同期比7.2%増）となりました。セグメント利益は作業の増加等による売上原価の増加により、244百万円の利益（同3.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、5,471百万円となりました。これは、主に現金及び預金が348百万円、電子記録債権が251百万円、仕掛品が101百万円増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が953百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、2,968百万円となりました。これは、主に無形固定資産に含まれているソフトウェア仮勘定が64百万円、有形固定資産その他に含まれているリース資産が36百万円減少したことによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、8,440百万円となりました。

### (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、2,480百万円となりました。これは、主に未払費用が522百万円、短期借入金が250百万円増加したものの、買掛金が271百万円、賞与引当金が272百万円、未払法人税等が177百万円、その他に含まれる未払消費税等が157百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し、530百万円となりました。これは、その他に含まれているリース債務が36百万円減少したことによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて4.2%減少し、3,010百万円となりました。

### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、5,429百万円となりました。これは、主に株主配当金の支払が99百万円あったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初予想通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表した予想に変更はありません。

当連結会計年度（2023年3月期）の業績見通しにつきましては、売上高10,193百万円、営業利益736百万円、経常利益741百万円、親会社株主に帰属する当期純利益509百万円を見込んでおります。

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、経済情勢、事業運営における内外の状況変化等により、予想値と異なる場合があります。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,203,691	2,552,000
受取手形、売掛金及び契約資産	2,403,447	1,449,697
電子記録債権	143,070	394,088
リース投資資産	438,955	467,742
商品及び製品	56,349	63,031
仕掛品	246,580	348,090
原材料及び貯蔵品	40,810	45,697
その他	116,645	153,026
貸倒引当金	△2,086	△1,651
流動資産合計	5,647,463	5,471,724
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	688,511	675,243
土地	531,977	531,977
その他（純額）	779,052	752,062
有形固定資産合計	1,999,541	1,959,283
無形固定資産		
投資その他の資産	430,801	386,738
退職給付に係る資産	179,105	183,795
その他	458,141	443,280
貸倒引当金	△4,286	△4,342
投資その他の資産合計	632,960	622,733
固定資産合計	3,063,304	2,968,755
資産合計	8,710,768	8,440,480
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	779,383	508,263
短期借入金	-	250,000
未払費用	258,110	780,423
未払法人税等	197,223	19,847
賞与引当金	467,938	195,884
受注損失引当金	42,781	59,934
アフターコスト引当金	44,785	33,339
その他	788,067	632,662
流動負債合計	2,578,290	2,480,355
固定負債		
その他	564,121	530,151
固定負債合計	564,121	530,151
負債合計	3,142,411	3,010,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	777,875	777,875
資本剰余金	239,946	239,946
利益剰余金	4,499,097	4,366,221
自己株式	△737	△737
株主資本合計	5,516,181	5,383,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,460	104,170
退職給付に係る調整累計額	△61,286	△57,502
その他の包括利益累計額合計	52,174	46,668
純資産合計	5,568,356	5,429,973
負債純資産合計	8,710,768	8,440,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,828,216	2,097,490
売上原価	2,270,795	1,652,388
売上総利益	557,420	445,102
販売費及び一般管理費	476,554	504,016
営業利益又は営業損失(△)	80,866	△58,913
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	2,366	2,553
受取手数料	453	458
その他	875	564
営業外収益合計	3,699	3,579
営業外費用		
支払利息	928	934
支払手数料	199	199
補助金返還支出	-	605
その他	37	97
営業外費用合計	1,165	1,836
経常利益又は経常損失(△)	83,399	△57,170
特別損失		
固定資産除却損	589	7
特別損失合計	589	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	82,810	△57,178
法人税等合計	26,027	△12,721
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,782	△44,456
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	56,782	△44,456



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	56,782	△44,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,137	△9,290
退職給付に係る調整額	2,961	3,784
その他の包括利益合計	7,098	△5,506
四半期包括利益	63,881	△49,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	63,881	△49,962
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,084,052	384,778	533,785	825,599	2,828,216	—	2,828,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,509	3,070	374	1,349	9,303	△9,303	—
計	1,088,561	387,848	534,160	826,948	2,837,519	△9,303	2,828,216
セグメント利益	120,960	1,036	33,080	252,078	407,155	△326,289	80,866

(注) 1 セグメント利益の調整額△326,289千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機器等販売	ソフトウェア 開発	システム 販売	システム運 用・管理等	計		
売上高							
外部顧客への売上高	433,716	310,351	468,022	885,400	2,097,490	—	2,097,490
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	5,428	1,299	2,939	9,667	△9,667	—
計	433,716	315,779	469,322	888,339	2,107,157	△9,667	2,097,490
セグメント利益又は損失 (△)	27,913	△20,058	20,459	244,078	272,393	△331,307	△58,913

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△331,307千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等  
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。